

経営理念 (企業使命観)

すべてのお客さまに 楽しい食事のひとときを 心と技術でつくる リンガーハットグループ

リンガーハットグループはお客さまが「食」される商品を提供しています。 その「食」はおいしく健康的で、さらに「安全」「安心」でなければなりません。

そして、変わりゆく時代の中でお客さまに求められる存在であるためには、 常に成長し変わり続けることが大切だと考えます。

実践訓

- 一、私たちは健康的で高品質な商品を手頃な価格で提供します。
- 一、私たちは「お客さまの声」を心を開いてお聞きし、改善に努めます。
- 一、私たちはよろこびのある職場をつくり、ゆとりと豊かさを追求します。
- 一、私たちは自然と環境を大切にして、地域の皆さまに愛される店づくりをします。
- 一、私たちは世界、日本、郷土の「味の文化」を発掘し、発展させます。



報告対象組織

株式会社リンガーハット リンガーハットジャパン株式会社(直営店・加盟店) 浜勝株式会社(直営店・加盟店) リンガーハット開発株式会社 リンガーフーズ株式会社 株式会社ミヤタ

報告対象期間

2020年3月1日~2021年2月28日*

発行

2021年5月25日

お問い合わせ

株式会社リンガーハット CSR チーム TEL.03-5745-8611 FAX.03-5745-8622



経営理念・実践訓	
目次・編集方針	
トップメッセージ	
グループ概要/経営概況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
経営方針/コーポレートガバナンス	(
ニューノーマル (新しい生活様式) への対応	
多角化と経営効率の推進	•
安全・安心なお店づくり	1
リンガーハットグループの	
価値共創モデル・SDGs·······	1
食の安全と安心	1
職場環境の改善/女性活躍推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1.
株主・投資家、FC・契約農家とのかかわり	
自然と環境への配慮・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
企業情報	1

編集方針

2020年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、事業活動や社会貢献活動にさまざまな影響を受けました。その中でリンガーハットグループは、人と社会に貢献する企業であり続けることをめざし活動してきました。本報告書では、創業60周年に向けて進めていくコロナ禍における事業戦略、新型コロナウイルス感染症拡大の防止の取り組み、従業員のための職場環境づくり、社会貢献、そして持続可能な地球環境の実現に向けた活動について紹介します。

リンガーハットグループ コーポレートブック 2021



2020年度の業績について振り返りをお願いします。

皆さまには大変なご心配をお掛けしております。 この状況を1日でも早く乗り越えていけるよう努めてまいります。

2020年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、創業以来、これまでに経験したことのない極めて厳しい状況となりました。昨年、試練の年になると申し上げましたが、残念ながらその言葉通りの1年となりました。この状況を乗り越えるべく、2020年度はコロナ禍の影響が業績に影響し始めた3月より、対応策を実行してまいりました。経営の安定化を図るための十分な資金の確保に努め、当面安定した事業活動を継続していく目処は立っております。一方で、コロナ禍における、ステイホーム、密を避ける行動の要請にともなう、外食の自粛の影響により売上高は前年度比で、3割減という水準となりました。この事態を乗り切るべ

く、グループ全体で128に及ぶ採算の改善見込みが厳しい店舗の退店を断行いたしました。退店する店舗に勤務していたパート・アルバイトスタッフ約2,400名には、引き続き近隣の店舗で勤務してもらうよう働きかけました。その内、約600名は近隣店舗で継続して勤務いただいていますが、多くのスタッフの雇用を守ることができず、経営者としての責任も感じています。

今期は「全員参加で、創業 60 周年に向けて前進しよう」をスローガンに掲げ、2021 年度黒字化達成をめざし、生活様式の変化への対応、経営効率の改善に、全力で取り組んでいきます。

創業60周年に向けた、今後の取り組みをお聞かせください。

テイクアウト需要の取り込み、冷凍食品事業の拡大、経営効率の向上を確実に進め、 経営目標の早期達成をめざしていきます。

2009年に「使用するすべての野菜の国産化」を実行し、「安全」「安心」でおいしく健康的な食の提供に努めてきました。この厳しいコロナ禍におきましても、私たちの提供している商品が、日常食としてお客さまに支持され続けているという実感を得ており、JCSI(日本版顧客満足度指数)調査においても、飲食・ファーストフード店部門で4年連続顧客満足度第1位を獲得しました。店舗主導で実施しているミーティング「月例会」については、さらなる活性化を図っております。個店ごとの事情に合わせた取り組みを従業員自らが考え、速やかに実行することで、顧客満足度の向上につなげていきます。

その上で、コロナ禍に合わせた商品・サービス戦略 の実施、冷凍食品事業の拡大、これまで以上の経営 効率の向上に現在取り組んでいます。

商品・サービス戦略においては、テイクアウトに

合った商品を提供するため、テイクアウト専用ちゃんぽん麺の開発に年度当初から着手し、2020年10月より導入を開始しました。また、オンラインによる注文・決済により、商品受け渡しをスムーズに行える「モバイルオーダー」を新たに導入しました。

冷凍食品事業においては、ステイホーム、不要不 急の外出の自粛などの影響による需要増加を受けて、 販売数量が増加しました。なお、このニーズに応え ていくため、生産ラインや受発注システムの強化、 商品のブラッシュアップを行いました。

経営効率の向上においては、AI を活用した受発注システムの導入に向けた取り組みを進めてきました。調理や接客に割くべき時間をさらに拡充し、経験の有無による発注ロス等の解消をめざしています。このシステムは、2021年1月より導入を開始しています。

持続的な社会の実現のための取り組みについてお聞かせください。

循環型社会の実現に向けた取り組みや、国産野菜の品質向上の取り組みを継続していきます。

契約農家の皆さまに取得をお願いしている「JGAP」 (食の安全や環境保全に取り組む農場に与えられる認証) は、取引先のおよそ半数に取得していただいております。2020年度には使用する国産きくらげを有機 JAS 認証取得のものに統一しました。

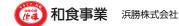
さらに、店舗で発生する食糧くず、廃棄物から鶏の エサを作り、育てた鶏の卵を使用する「食品リサイ クル・ループ」の取り組みについては、外食企業 4 社と協力し、名古屋市で開始しました。

こうした社会的責任を果たすと同時に、当社グループは、従業員が自ら考え、新たなチャンスに向けて行動する企業への変革をめざしていきます。ステークホルダーの皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



長崎ちゃんぽん事業 リンガーハットジャパン株式会社

長崎ちゃんぽん、長崎皿うどんなどを提供しています。 2009年より使用する野菜をすべて国産に切り替えました。



長崎の郷土料理「卓袱」の味を、半世紀以上に渡り、お客さまに提供し続けています。



外販事業 リンガーフーズ株式会社

長崎ちゃんぽんや長崎皿うどんといった冷凍商品などを、 オンラインショップや小売店を通じて提供しています。

液かつ 響 とかった。 とんかつ事業 浜勝株式会社

1962年創業。厳選した素材を使った、揚げたて切り立ての揚げ物を提供しています。



設備メンテナンス事業 リンガーハット開発株式会社

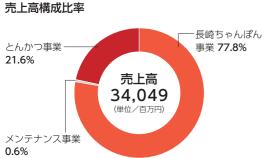
外食事業者向けの設備メンテナンスや清掃サービス、自社 グループ従業員向け保険代理業を行っています。



漬物製造販売事業 株式会社ミヤタ

乳酸発酵させた「長崎ぶらぶら漬」などを中心に、漬物の製造販売を手がけています。

財務 -

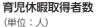






非財務







経営方針

経営方針/コーポレートガバナンス

スローガン

全員参加で、創業60周年に向けて前進しよう

戦略

- 月例会を徹底し、お客さまを増やそう
- 2 現地・現物・現実で、改善のスピードを上げよう
- ❸ 自ら考え、新たなチャンスに向けて行動しよう

リンガーハット フィロソフィー リンガーハットフィロソフィーとは、さらなる飛躍のためにリンガーハットグループが築き上げてきた企業 理念を明文化したものです。リンガーハットグループの社員全員は社会から受容されていることへの感謝を忘れず、精進していかねばならないと定めています。全従業員が日々の判断・行動の指針として活用しています。

コーポレートガバナンス

企業経営における執行と監督の機能分離、株主などへの十分な質と量の情報開示および説明責任を果たすため、 取締役会を軸としたガバナンス体制を構築しています。このガバナンス体制は、株主総会で選任された監査役にて 構成される監査役会および監査役会で決定され、株主総会で選任された会計監査人によって、管理統治されます。

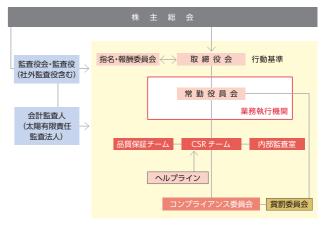
リスク発生時の対応

リンガーハットグループでは、リスクを(1)自然災害(2)事故(3)社会・経済(4)経営の4つに分類し、それぞれの影響度に応じて対策本部を設置し対応します。

コンプライアンス委員会の役割

リンガーハットグループでは、毎月1回、社長承認のもとコンプライアンス委員会を招集し、発生した案件への対応策や解決策を審議します。コンプライアンス委員会は、CSR チーム、内部監査室・品質保証チーム、総務・人事グループ担当役員、常勤監査役、顧問弁護士および指名されたチーム責任者にて構成されます。

ガバナンス体制



5 リンガーハットグループ コーポレートブック 2021

特集

ニューノーマル (新しい生活様式) への対応

商品・サービス戦略

▼不要不急の外出自粛、ステイホーム、密を避ける行動への対応を進めています。

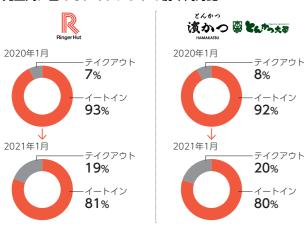
リンガーハットグループでは、新型コロナウイルス 感染症の拡大を防止するための、不要不急の外出の自 粛、密を避ける行動、ステイホームなどの、行動様式 への変化に対応するため、2020年度はこれまで推し 進めてきた出店戦略や商品戦略を大幅に見直しまし た。外に出て食事を楽しむことを控え、持ち帰りやデ リバリーを活用する方がコロナ禍で急増したことに合

わせ、テイクアウトにより適した商品、包装容器、注 文受付ツールの開発・拡充を進めています。

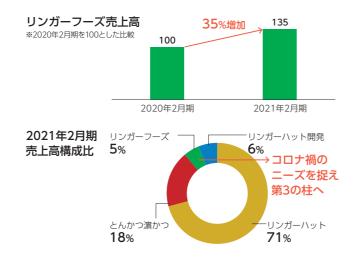
また、グループ会社のリンガーフーズが手がける冷 凍食品のニーズも、ステイホームが推奨される中で急 増しました。このニーズにしっかりと応えていくため の牛産設備の拡充にも取り組んでいます。

トイクアウトの利用が、不要不急の外出自粛 の中で、大幅に拡大しました

売上高に占めるテイクアウトの前年同月比



ステイホームによる、 冷凍食品へのニーズが高まりました



テイクアウト向け新商品や、 利用促進のためのサービス拡充を進めています。

商品戦略

お持ち帰り専用ちゃんぽんめんを全店舗導入

持ち帰りの「ちゃんぽん」用に、配合や製法を通常の 店内飲食用から変更した、お持ち帰り専用ちゃんぽん 麺を新たに開発しました。麺の太さを通常のちゃんぽ ん麺より太くし、茹で上がりの固さが1.5倍(当社比)に なるよう調整。ご家庭で召し上がるときに、お店と同じ

食感で楽しんでいただけ るようにしました。



テイクアウト向けの商品ラインナップを拡充

持ち帰りニーズの増加に合わせ、とんかつ濵かつで は、弁当や丼、総菜のラインナップを増やしたほか、 年末年始には密を避ける過ごし方に合わせた「お一人 さま重 | を販売しました。リンガーハットでは密を避 け、ランチタイムをずらして来店される方に合わせ、 セットメニューの全時間帯提供を実施しました。







総菜メニュー かつ尽くし

販売・サービス戦略

テイクアウトのモバイルオーダーサービス導入

店頭での商品受け渡しをスムーズにしつつ、会計待 ちの密を避けられるよう、お客さまからの注文と会計 処理をオンラインで完了させるモバイルオーダーを利 用できるようにしました。今後は年配の方でも扱いや すいよう、仕組みをさらに改善していくとともに、対 応店舗を拡大していきます。

- ●事前注文・決済で、できたて商品をスムーズに受け取り
- ●隙間時間にパパッと注文可能





デリバリーサービス対応店舗を拡充

コロナ禍により、持ち帰りに加えてニーズの高まっ たデリバリーへの対応を強化しました。外部のデリ バリー事業者4社と提携し、幅広い地域のお客さまに デリバリーで商品をお届けできるよう取り組んでいま す。また、デリバリーの認知度向上を図るため、デリバ リー利用促進のためのキャンペーンも実施しました。

デリバリー提供の利用可能店舗数

リンガーハット	260 店舗	
とんかつ濵かつ	44 店舗	
(00015155555555555555555555555555555555		

(2021年4月末現在(直営+FC計))

多角化と経営効率の推進

創業60周年に向けた、持続的な事業発展の実現

■持続的な事業の発展のために、冷凍食品事業の拡大とDXの推進に取り組みます

新型コロナウイルス感染症の拡大を踏まえ、リン ガーハットグループでは2022年7月の創業60周年に 向けて、冷凍食品事業を軸とした事業の多角化による 売上高の再拡大と、発注システムへの AI 技術等の導 入といった DX (デジタルトランスフォーメーション) の推進による経営効率の向上に注力していきます。

冷凍食品事業においては、2020年度コロナ禍によ

を大幅に上回る注文がありました。この需要増加に 応えるべく、生産ラインの増強、EC サイト(ネット ショッピング等)の注文処理システムの改善を迅速に 進めていきます。

る不要不急の外出自粛の要請の影響もあり、販売計画

DX 推進においては、店舗の発注や事務にかかって いた人的労力を AI 技術で代替していきます。

■冷凍食品事業の取り組み

2020年度は新たに首都圏・関西地区・九州地区の 食品スーパー様との取り引きを開始しました。また、 テレビショッピングやコンビニチェーン、スーパーと のコラボ商品の売上高も順調に推移しました。販売拡 大を後押しすべく、主力商品のブラッシュアップを2 月に実施するとともに、より多くの需要に応えられる よう、富士小山工場に生産ラインを増設しました。





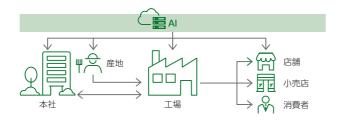




冷凍食品の新パッケージ

■ DX 推進の取り組み

店舗と工場および間接部門の DX に取り組み、業務 効率の向上、従業員の負荷軽減を図る取り組みを進め ています。2021年度は全店舗への自動発注導入に加 え、生産管理やトレーサビリティの強化により、さら なる経営効率の向上を図ります。



安全・安心なお店づくり

新型コロナウイルス感染症拡大防止の取り組み

コロナ禍を踏まえた衛生管理規程の見直し

リンガーハットグループでは、「安全」「安心」な商 品の提供を実現し続けていくため、衛生管理の徹底に 日々取り組んでいます。新型コロナウイルス感染症の 長期化を踏まえ、マスク着用の義務化、アルコール消 毒規定の見直し、席配置・アクリルパーテーション設 置などを含めた衛生管理規程の改訂を実施しました。



ル除菌を行っていただくよう、 お願いしています



入店時には、検温とアルコー カウンター席には、飛沫感染 予防のために、アクリルパー テーションを設けています

| 従業員の健康管理の徹底

従業員の健康管理のため、勤務開始前に検温を実施 し記録しています。また、手洗いの際のタイマー管理 を徹底するよう指導を行っています。







会計時の飛沫感染予防の 下げ膳後のテーブル、椅

ため、レジ前にパーテー 子、カスターセットは、 ションを設置しています アルコールによる拭き上

従業員にPCR検査で陽性判定が出た場合の対応

リンガーハットグループでは、グループ従業員に新型 コロナウイルス感染症 PCR 検査で陽性者が出た場合、 行政(保健所)へ速やかに連絡し、その指示・見解にも とづいた対応を行っています。また、コロナ禍の長期化 が見込まれる中において、いつ陽性判定が発生しても 適切な対応を取れるように、体制整備を図っています。

手洗いの様子

- 1 連絡経路確認 (保健所含む)
- 2 濃厚接触認定おそれ者の確認
- 3 当該者スケジュール調整
- 4 保健所指導に沿う店内消毒の実施
- 5 店舗休業必要可否判断
- 6 店頭告知、リリース手配
- 7 該当者所属部署他従業員への風評対応
- 3 当該者 (陽性の場合) ケア (復帰判断、フォロー)

9 リンガーハットグループ コーポレートブック 2021

食の安全と安心



リンガーハットグループの価値共創モデル



リンガーハットグループは 多くのステークホルダーの 皆さまとの協力関係を大切にし 連携(共創)して、お客さまを はじめとした社会と環境に対し より大きな価値を提供していく ことを目指しています。



リンガーハットグループの取り組む SDGs

人間/ People







食育活動を通じて、食の大切さと感謝 の啓蒙や健やかな成長の支援。あらゆる 人が活躍できる職場環境の整備や指導 研修の実施。

豊かさ/ Prosperity







社員の労働時間の見える化による適 正な労務管理と連続休暇の取得の義務 化。地方産業創生への協力、地域の味や 文化の承継や保存への協力。

[Sustainable Development Goals] (SDGs)

2015年9月25日に国連総会で採択された、世界が2030年までに達 成を目指すべき「17」の持続可能な開発目標

地球/Planet





国産野菜の使用による日本の農業の持 続可能性向 Fへの寄与。リサイクルをは じめとした地球環境の維持向上を目的と した活動への協力。

共創/ Partnership



JGAP 導入や産学連携といった価値創 出を目的とした他の企業・団体との連携。

平和/Peace



企業理念・行動指針の徹底とコンプ ライアンス体制の維持・強化。地域社会 への貢献と共生。

食品安全マネジメントシステム

食品安全の国際規格 ISO22000にもとづく マネジメントシステムを導入しています。

安全・安心な商品をお客さまへお届けするために、 「安全」は什組み・ルール、「安心」は教育・訓練とそ の実践と定め、リンガーハットグループの各工場では 衛生管理・異物混入防止の徹底に取り組んでいます。 佐賀・富士小山・京都・佐賀第3の4工場では国際規 格 ISO22000の認証を取得しています。









佐賀第3工場

品質管理

■食材の温度管理の徹底

工場内の加工フロア、加工前・加工済食材の保管庫 の温度をモニタリングし、適切な状態を保っています。

■品質管理チームによる検査

製造した商品・具材の細菌検査・理化学検査、およ び製造ラインの拭き取り検査、製造・保管機器等の温 度検査を行っています。

■第三者による現地監査

よる検査の様子

外部インスペクションを定期的に受け、工場の衛生 管理の改善に継続して取り組んでいます。



異物混入防止

佐賀丁場

■製造ラインに金属探知機を設置

食材の加工製造ラインすべてに金属探知機を設置し て、金属由来の異物の混入有無を検査しています。

■外販商品の出荷前検査の実施

外販商品の梱包内に、異常や異物の混入がないか、 X 線検査装置を用いて検査しています。

■着衣付着物の混入防止の徹底

従業員は専用の作業服を着用し、製造ライン入室前 にエアシャワーや粘着ローラーを用いて着衣に付着し た異物の除去を実施しています。



入室前の手洗いの様

11 リンガーハットグループ コーポレートブック 2021 リンガーハットグループ コーポレートブック 2021 12



女性店長の人数

2018

82

2019 2020(年度)





職場の安全・健康管理・従業員教育

適切な労働環境の維持向上を図るとともに、 従業員の健康管理に取り組んでいます

産業医・組合代表・労務顧問で構成する安全衛生委 員会を設置し、健康管理における問題や労働災害が発 生した際には、原因分析と再発防止施策の検討、そし て指導を行っています。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止の取り組み の一環として、本社部門では出勤率30%を目標に、在 宅勤務制度を整備し、リモートワークを実施しました。

従業員の指導(集合教育)についても、対面からオ ンラインへと切り替えて実施をしました。2020年度 は7回開催し69名が参加しました。

ヘルプライン

業務上のコンプライアンスに関する相談や 通報のための仕組みを運用しています

寄せられた疑問や相談は行動基準に照らして調査し、 違反行為については事態の改善を図っています。2020 年度は130件(第三者機関へは内5件)の相談が寄せら れ、内16件はコロナ禍を起因とするものでした。

相談内容内訳(2020年度)



女性活躍の推進

職場環境の改善や仕事と家庭の両立の支援に

取り組んでいます

女性活躍推進の取り組みを诵じて、グループ全体の 多様性を高めていくことをめざしています。2020年 度はコロナ禍に配慮し、オンラインによる女性活躍テ レビミーティングを14回実施し、問題の共有や課題 へのサポートを実施しました。



※パート店長含む (単位:人)

女性活躍テレビミーティングの様子

■社員の繋がりの強化

コロナ禍におけるコミュニケーションへの不安解消に 取り組んでいます

新卒および定期採用(キャリア)の新入社員がより前 向きな姿勢で業務に取り組めるよう [メンター制度] を 運用しています。

2021年4月入社の新入社員へは、新型コロナウイル ス感染症に配慮し、対面に限らずオンラインツールも 活用し、毎月のメンタリングを行いました。2020年度 は新入社員25名を対象に実施しました。

株主・投資家とのコミュニケーション

ホームページや株主通信を通じて、 適切な情報開示を行っています

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2020年 度は株主総会終結後の株主懇談会、株主報告会、株主 工場見学会を中止しました。今後については、オンライ ンでの交流機会を設けることを検討していきます。

FC・契約農家へのコロナ禍の対応

相談の場のオンラインへの移行や、

仕入量の調整について、丁寧に説明し実施しています

FCオーナーとの個別相談にはオンライン方式を導 入。オンラインの特徴を活かして相談機会を増やしま した。契約農家へは、客数減少にともなう仕入数量の 抑制を丁寧に説明し、信頼関係の維持を図っています。

循環型社会への協力

食品廃棄物の低減や、野菜くずの肥料化・飼料化に 取り組んでいます

2020年9月より外食4社とリンガーハットが協力 し、名古屋市内の36店舗を対象に「食品リサイクル ループ」の取り組みを開始しました。本取り組みは「第 8回食品産業もったいない大賞 において、農林水産 省食料産業局長賞を受賞しました。

地球環境保全の取り組みの一環として、

プラスチック使用量の削減に取り組んでいます

2020年7月より、テイクアウトおよびお土産用の袋 を、バイオマス素材配合(配合率25%以上)の袋に変 更しました。また、2019年1月に、プラスチック製ス トローの提供を全店舗で廃止し、継続しています。

※お子さまメニューのストロー付きパックジュースに付属しているストローはプラスチッ ク製となっております。

リンガーハットグループマテリアルフロー



CO2 排出量の推移 2018年 /1,239(60,026)、2019年 /1,158(54,325)、2020年 /1,355(45,558) ※表記の見方: 年度/原単位当たり[kg/百万円] (総排出量[t])





株式会社 リンガーハット (RINGER HUT CO., LTD.)



当社グループは、当社と子会社など13社*で構成され、長崎ちゃんぽんの専門店「リンガーハット」、とんかつの専門 店 「濵かつ」を主としたチェーン店及び長崎郷土料理 「長崎卓袱浜勝」の経営、食品・食品原材料の製造・加工並び に外販事業及び設備メンテナンスを主な内容とする事業活動を行っております。

・本社 ……………………… 東京都品川区大崎1-6-1 TOC 大崎ビル14階

 名誉会長 …………………… 米濵和英 · 代表取締役社長兼CEO ····· 佐々野諸延

· 設立 ·········· 1970年6月13日 (実質上 1964年3月7日)

• 資本金 …… 9.002.762.834円

・従業員数 (グループ全体) … 正社員 584名、パート・アルバイト約10.000名 (2月末時点)

* (注) その他海外7社は以下の通りです。

Ringer Hut Hawaii Inc.

Ringer Hut (Thailand) Co., Ltd. Champion Foods Co., Ltd. Ringer Hut Cambodia Co., Ltd. Ringerhut and Shimizu Holding Corp

台灣棱閣屋有限公司 PT Ringer Hut Indonesia

主要な国内グループ会社

店舗数

№ リンガーハットジャパン株式会社

主な事業内容 長崎ちゃんぽん専門店 「リンガーハット」の

チェーン展開

所在地 東京都品川区大崎1-6-1 TOC 大崎ビル14階

設立 2006年9月1日 代表取締役計長 福原扶美勇

資本金 1億円

減めつ 浜勝株式会社

主な事業内容 とんかつ専門店「濵かつ」「とんかつ大學」「卓

615店舗 (FC、海外含む)

袱浜勝 のチェーン展開

所在地 東京都品川区大崎1-6-1 TOC 大崎ビル14階

設立 2006年9月1日

山岡雄二 代表取締役社長 資本金 1億円

店舗数 89店舗 (FC、海外含む)

リンガーハット開発株式会社

主な事業内容 グループ外食事業店舗の建設・改修・設備の

メンテナンスおよび保険代理業

所在地 東京都府中市分梅町3-51-2

第一森田ビル

設立 1986年3月6日

代表取締役計長 □□Ⅲ雅彦 資本金 1億円

№ リンガーフーズ株式会社

グループ外販事業ブランドの展開 主な事業内容

所在地 東京都品川区北品川4-7-35

御殿山トラストタワー 3F

設立 2013年12月16日

代表取締役社長 鎌田武紀 資本金 3.000万円

株式会社ミヤタ

主な事業内容 「長崎ぶらぶら漬」など、漬物の製造および販売

所在地 長崎県大村市富の原2-383-1

設立 2004年3月12日

代表取締役社長 宮田正一 資本金 1.000万円